

東京消防庁の自家発電設備講座に講師派遣

6月7日、東京消防庁消防学校にて「自家発電設備の教養講座」が開催されました。東京消防庁管内の査察や予防業務に従事する消防職員を対象に開催したもので、100名を超える応募者の中から、抽選で選ばれた約50名が参加しました。内発協は、防災用自家発電設備の製品認証に関する登録機関として、自家発電設備の設置や保守点検に携わる専門技術者を養成する専門機関として、教養講座の開催趣旨に賛同して全面協力し講師を派遣しました。

冒頭、内発協の小林専務理事があいさつし、続いて、内発協の技術部職員が講師を務めて講習を行いました。講習のテーマは、電気の基礎知識、発電機及び原動機の原理など自家発電設備の技術的な基礎知識。また、防災用自家発電設備の認証制度、自家発電設備に係わる法令。自家発電設備設置後の維持管理の重要性及び不具合など。内発協の技術職員2名がテーマごとに分担し、パワーポイントを用いて

講習を行いました。質問などについてはアンケートとともに別途受け付けることとし、盛況のうちに終了しました。

今回、内発協では東京消防庁からの依頼を受け、講師派遣を決めました。今後とも、自家発電設備に関する技術研修会などにおいて、他の消防機関などからも講師派遣の依頼を受けた場合は積極的に協力していくこととしています。



熱心に受講する消防職員たち



あいさつする小林専務理事



自家発電設備の基礎知識の講習



自家発電設備に係わる法令・不具合の講習